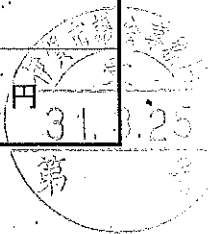


伊賀市議会行政視察報告書

伊賀市議会議長 様		報告者	議員名 百上真奈	
参加者名	百上真奈			
①	視察日時	11月15日 10時00分	視察先	長野県 飯田市
	視察事項	地域自治組織について		
②	視察日時	11月15日 13時30分	視察先	長野県 飯田市
	視察事項	環境モデル都市の取り組みについて		
③	視察日時	月 日 時 分	視察先	
	視察事項			
【視察の成果】		別紙添付		
費用	旅費：19,810円		研修参加費：	円 合計：19,810円



## 2018年度 政務活動報告

視察先 長野県飯田市

日時 2018年 11月14日～15日

視察内容 1 地域自治組織について  
2 環境モデル都市の取り組みについて

視察概要 添付資料参照

### 所見等

#### 1 地域自治組織について

説明＝飯田市役所 ムトスまちづくり推進課

総面積約 658 k m<sup>2</sup>人口約 102000 人の飯田市は、伊賀市を一回り広くしたくらい  
の市で、昭和 12 年から近隣町村と合併を繰り返して、現在の飯田市になりました。  
た。

平成 13 年から、新たな自治組織の導入が検討され始め、19 年 4 月に自治基  
本条例制定と同時に、「地域自治区」が設置されました。市域自治区に多様な住  
民で構成される「地域協議会」を設置。地域協議会の事務を所掌する事務所とし  
て旧支所単位に「自治振興センター」が設置されています。ここまでが、市の組  
織です。一方、住民が自発的に作ってきた住民組織として、20 の「まちづくり  
委員会」があります。

このような住民と行政との協働を推進する仕組みである地域自治組織を再構  
築した上で、行政は人的支援と財政支援を行っています。

人的支援では、旧町村単位と中心部地区の 20 地区すべてに、自治振興センタ  
ーと公民館を併設し、所長・保健師・公民館主事・一般職員の行政職員を配置し  
ています。公民館長は地域推薦の住民になります。一般職員を置くことにより、  
支所機能としての窓口が残り、合わせて、公民館機能も残しています。

財政支援では、パワーアップ地域交付金（総額 1 億円）を均等割・人口割で配  
分し、まちづくり委員会への委託業務にも、総額 4733 万円の子算を付けていま  
す。あるまちづくり協議会の子算では、パワーアップ地域交付金は約 30%で、  
残りは会費等自主財源で運営しています。

特筆すべきは、支所の機能は大幅な縮小だが、すべてのセンターに市職員を配  
置し、公民館機能も併設し、保健師を置くことで、福祉のまちづくりも進められ  
る機能をしっかりとしていることです。公民館活動を通して、地域課題を解決  
せねばと考えられる人材を育てています。

伊賀市は、公民館機能をすべての地区市民センターから外し、将来は市職員も  
引き上げて、住民自治協議会にセンターの指定管理を任せる計画を持っていま  
すが、それで、住民主体のまちづくりと住民福祉の維持、行政との協働ができ  
るのか、疑問である。

公民館と行政とまちづくり委員会の3者が、一番身近な単位の地域で連携し、地域課題の解決とまちづくりを行っている飯田市の地域自治組織のあり方は、おおいに学ぶべきだと思います。

## 2 環境モデル都市の取り組みについて 説明…環境モデル都市推進課

飯田市は平成8年に第4次基本構想基本計画に「環境文化都市」を掲げ、「21『いいだ環境プラン』」を策定しました。これを契機に、市域の豊富な再エネ資源と地域の「結」を活用して低炭素で活力ある地域づくりを推進するために、「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例（地域環境権条例）」を策定。その第3条には、再エネは市民の総有財産で、そこから生まれるエネルギーは、市民が優先的に活用でき、市民はその収益を財産に自らの手で地域づくりをしていく権利があるという地域環境権が規定されています。それに基づき、10件の事業認定がされ、内9件が稼働しています。

具体的には、市内で活動する公共的団体が、再エネ事業を通じて行う地域づくり事業を「地域公共再生可能エネルギー事業」に位置付けて、飯田市が、事業の信用補完、基金無利子融資、助言等の支援を行っています。

太陽光発電の売電収益で、保育園の園庭や地区市民センターの芝生化や、自治会と企業が連携して、竹林の伐採や小学校での環境教育体験事業・メンマの商品化など、各地区の基本構想に基づき、事業が行われています。

「市民参加による自然エネルギー導入低炭素まちづくり」が評価され、環境モデル都市に選定されています。

伊賀市は、地球温暖化対策実行計画を策定していますが、市の事務および事業において、温室効果ガスの削減と環境に配慮した行動・取り組みを積極的に推進するとしているだけで、地域全体にわたるものではありません。

伊賀市として、低炭素社会に向け、再生可能エネルギーの推進をどうするのか。市内で広がっている無秩序な太陽光発電事業ではなく、住民が主体となった再生可能エネルギーの推進こそが、必要だと考えます。

再エネの売電収益が、地域の課題解決とまちづくりの資金にも活用できるしくみなど、エネルギーの地産地消と地域づくりの連携について、調査・研究することを提案したいと思います。

## 旅費請求書続紙(百上議員)

出張月日	出発地	経路	到着地	鉄道・船・車賃				食卓料	日当		宿泊料		出張理由 (目的・場所)
				料程	運賃	特急料金 急行料金	寝台料		日数	額	宿泊	額	
11月14日	伊賀神戸	近鉄	名古屋	112.2	1,560	1,320							
	名古屋	高速バス	飯田駅前		2,175						1	9,700	
11月15日	飯田駅前	高速バス	名古屋		2,175								長野県飯田市 行政視察 「地域自治組織 について」「環境 モデル都市の取 り組み」
	名古屋	近鉄	伊賀神戸	112.2	1,560	1,320			1	1,500			
計					円 7,470	円 2,640	円	円		円 1,500	円 1	円 9,700	合計 21,310

※宿泊料8000円(1泊朝食付)には夕食代(1700円)が含まれていないため加算し、9700円を請求する。

日当 1500円は請求しない

名張から伊賀神戸間の乗車券・特急券は

請求しない (120円×2)

領収書等添付用紙	議員名	百上真奈
<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		

## 領 収 証

No. \_\_\_\_\_

伊賀市議会 百上真奈様

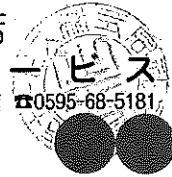
平成30年11月11日

金額  
¥18,350-

但し 交通費・宿泊費  
上記の金額正に領収いたしました

収 入 印 紙	内 訳
	税抜金額
	消費税額等 ( % )

JTB 総合提携店  
 (株) 三重旅行サービス  
 アビタ ☎0595-26-0211 アビタ名張店 ☎0595-68-5181  
 伊賀上野店 ☎0595-21-2917



作成日: 2018年10月30日

請求書番号	担当者

## ご請求書(兼)明細書

伊賀市議会 百上真奈 様



感動のそばに、いつも。

株式会社JT B総合提携店  
 三重県知事登録旅行業第2種325号  
 (株)三重旅行サービス アピタ名張店  
 三重県名張市下比奈知字黒田3100-1  
 電話0595-68-5181 Fax0595-68-5222

代表取締役 神田 昌典

毎度、当社をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。  
 この度のお取引につき、次のとおりご請求申し上げます。  
 11月13日までに、お支払い下さいますようお願い  
 致します。なお、請求内容に付きましてご不明な点が  
 ございましたら、請求書受領後お早めにご連絡をお願いします。

内容	数	単位	単価	合計
11/14 近鉄特急券・乗車券(名張～名古屋)	1	名	3,000	3,000
11/14 高速バス(名鉄BC～飯田駅前)往復割引	1	名	2,175	2,175
11/14 ルートイン飯田(シングル/朝食付)	1	名	8,000	8,000
11/15 高速バス(飯田駅前～名鉄BC)往復割引	1	名	2,175	2,175
11/15 近鉄特急券・乗車券(名古屋～名張)	1	名	3,000	3,000
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
	内計			18,350
申込金(/)				0
	旅行費用総額			18,350

ご請求額  
**¥18,350**

お振込先  
 百五銀行 名張支店 普通預金 222120  
 北伊勢上野信用金庫 名張支店 普通預金 952793  
 口座名:株式会社 三重旅行サービス 代表:神田 勝己

※お振込でのお支払いの場合、振込受領書を領収書に替えさせていただきます。

# 政務活動行程

H30.11.14(水) ~ H30.11.15(木)

平成30年11月14日(水)

名張 [8:44] ——— [ 近鉄特急(宇治山田行) ] ——— [9:12] 伊勢中川  
伊勢中川 [9:16] ——— [ 近鉄特急(近鉄名古屋行) ] ——— [10:20] 名古屋/名鉄BC  
名古屋/名鉄BC [11:00] ——— [ 中央道高速バス 飯田線(飯田商工会館行) ] ——— [12:54] 飯田駅前

(泊)

飯田市内のホテル

平成30年11月15日(木)

<視察> 10:00~11:30 地域自治組織について  
13:30~15:30 環境モデル都市の取り組み  
長野県飯田市議会 (〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534 ☎0265-22-4523)

飯田駅前 [16:34] ——— [ 中央道高速バス 飯田線(名鉄BC行) ] ——— [18:35] 名鉄BC/名古屋  
名鉄BC/名古屋 [19:30] ——— [ 近鉄特急(大阪難波行) ] ——— [20:56] 名張

三重県 伊賀市議会議員・名張市議会議員 様 御視察

～ ようこそ リニアがはしるまち 飯田へ ～

平成 30 年 11 月 15 日 (木) 10 時 00 分～【午前の部】

13 時 30 分～【午後の部】

飯田市役所 第 2 委員会室

次 第

1 開会

2 飯田市歓迎挨拶

飯田市議会 議長 清水 勇

3 三重県両市議会からご挨拶

三重県 伊賀市議会 議員 百上真奈 様

〃 名張市議会 議員 三原淳子 様

4 研修

(1) 地域自治組織について【午前の部】

説明> 飯田市役所 ムトスまちづくり推進課 ⇒説明後、質疑応答

※転換 (昼食・休憩)

(2) 環境モデル都市の取り組みについて【午後の部】

説明> 飯田市役所 環境モデル都市推進課 ⇒説明後、質疑応答

5 研修のまとめとご挨拶

三重県両市議会議員 様 まとめの挨拶

6 閉会

15:30 終了見込み

\*研修前後あるいは休憩時において、希望に応じて議場をご案内します

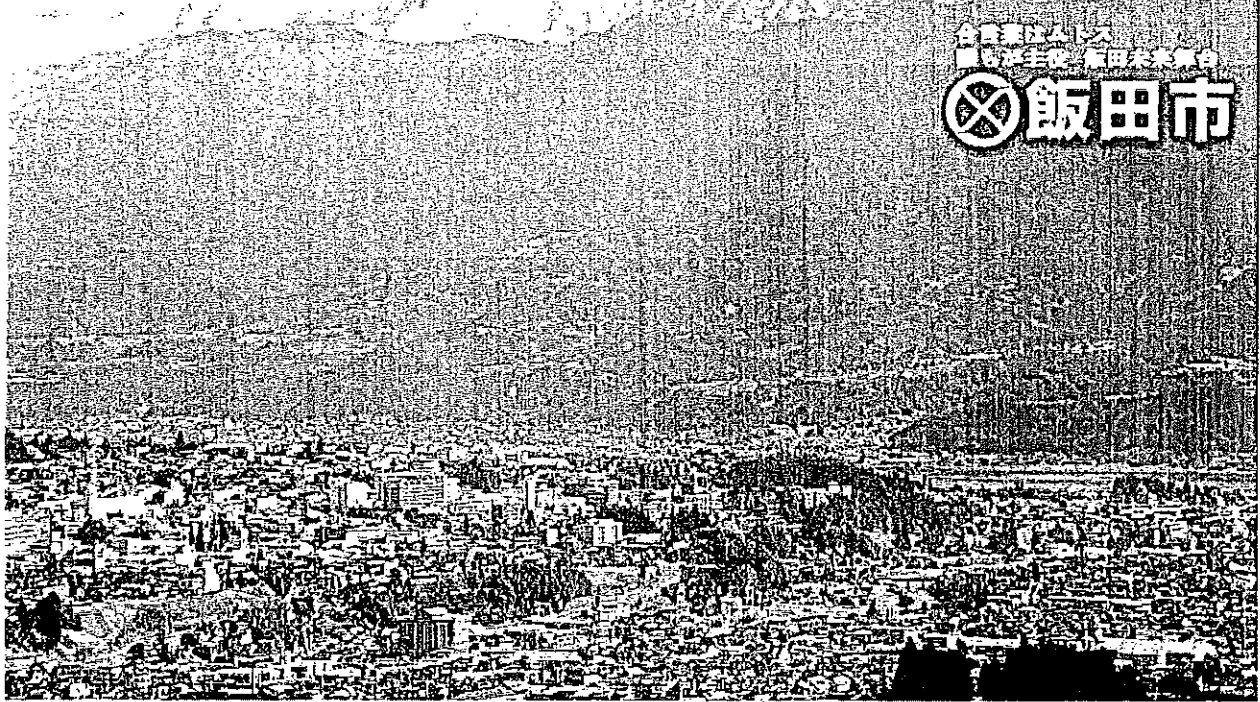
飯田市の出席者は以下のとおりです。

■飯田市	ムトスまちづくり推進課	課長	桑原 隆	(くわばら たかし)
〃		自治振興係長	松下 善彦	(まつした よしひこ)
〃	橋南自治振興センター	所長	小室 勇治	(こむろ ゆうじ)
■飯田市	環境モデル都市推進課	課長補佐	小川 博	(おがわ ひろし)
〃		地球温暖化対策係長	丸山 宏	(まるやま ひろし)
飯田市役所	住所	長野県飯田市大久保町 2534 番地 (〒395-8501)		
	電話	0265-22-4511 (代表)		
■飯田市議会		議長	清水 勇	(しみず いさむ)
〃	議会事務局	調査係長	松下 弘毅	(まつした ひろたけ)
飯田市議会	住所	長野県飯田市大久保町 2534 番地 (〒395-8501)		
	電話	0265-22-4523 (直通) FAX 0265-53-8821		
	E-mail	igikai@city.iida.nagano.jp		



# 飯田市の地域自治組織制度

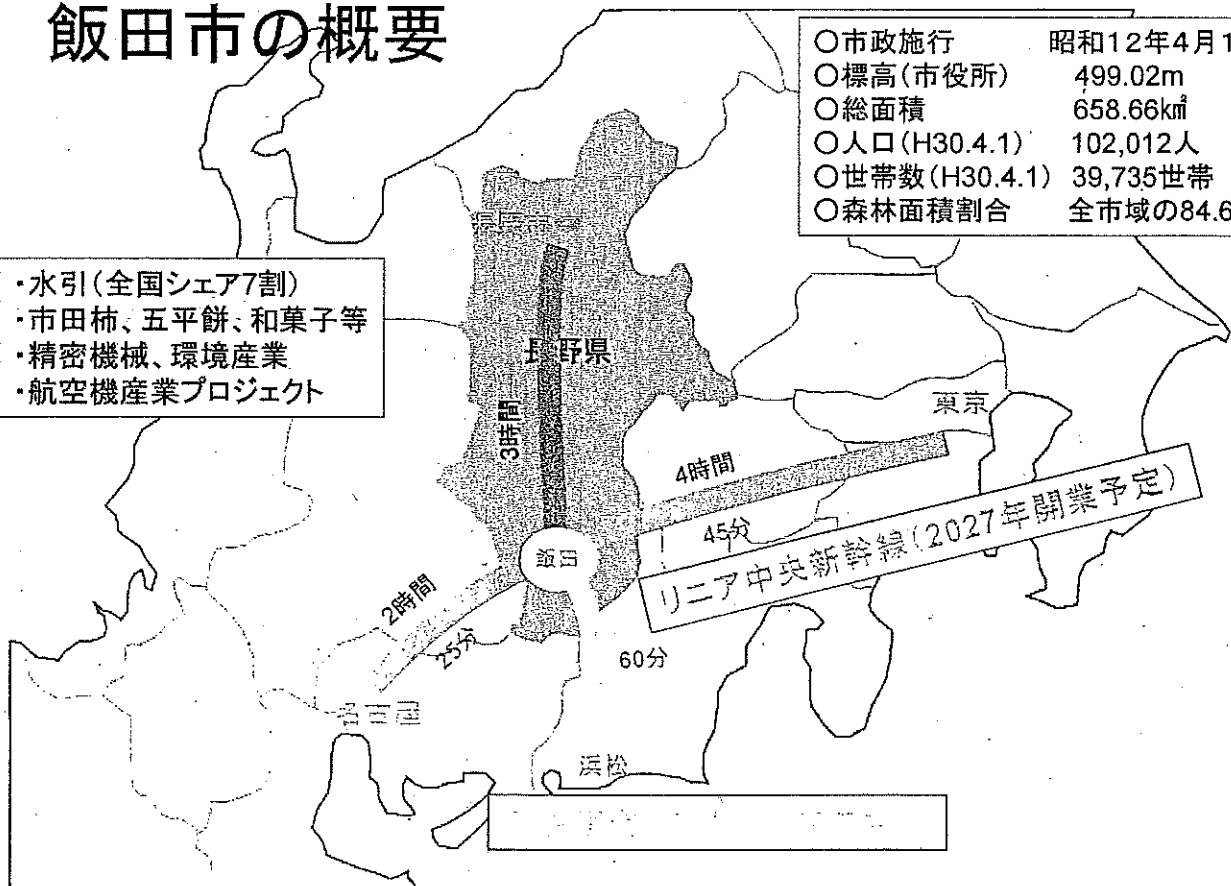
2018年度版 ムトスまちづくり推進課



## 飯田市の概要

- ・水引(全国シェア7割)
- ・市田柿、五平餅、和菓子等
- ・精密機械、環境産業
- ・航空機産業プロジェクト

○市政施行	昭和12年4月1日
○標高(市役所)	499.02m
○総面積	658.66km <sup>2</sup>
○人口(H30.4.1)	102,012人
○世帯数(H30.4.1)	39,735世帯
○森林面積割合	全市域の84.6%



# 環境モデル都市・飯田の挑戦

～再生可能エネルギーを活かしたまちづくり～

飯田市 環境モデル都市推進課

## 飯田市の概要

- ※ 面積 ……………658.66km<sup>2</sup>
- ※ 人口 (H30.9.30) ……101,819人
- ※ 世帯数 (H30.9.30) ……39,895世帯
- ※ 標高 (市役所) ……499.2m
- ※ 日照時間 (2017年) ……2187.4時間
- ※ 森林面積 (割合) ……全市域の84.6%

